



川口の教育



分散形式で行われた入学式の様子（令和2年6月2日 川口市立並木小学校）

第615号

【目次】

校（園）長会長のあいさつ	・・・ (2)～(3)
令和2年度 川口市立学校（園）研究テーマ一覧	・・・・・・ (4)
指導の手引き 「プログラミング教育について」	
川口市教育局指導課指導主事 村越 崇	・・・・・・ (5)
学校再開に向けた『学校の新しい生活様式』 ～各学校の実践～	
川口市教育局学校保健課指導主事 阿部 雄太	
同 長濱美智子	・・・ (6)～(7)
教育ルポ	・・・・・・ (8)

題 字 川口市教育委員会教育長 茂 呂 修 平

5・6 月合併号

—令和2年—

編集・発行 川 口 市 教 育 委 員 会

◆校長会長のあいさつ◆

未来を生きる子供たちのために

川口市立校長会長 高村 美恵
(戸塚南小学校 校長)



今年も満開の桜の花に彩られ、新年度が始まりました。しかし、残念ながら、この桜の下を元気に登校する子供たち（児童生徒・園児）の姿を見ることはできませんでした。

新型コロナウイルスの感染拡大予防のために3月から休校を余儀なくされ、学びの主体である子供たちが存在しない中、各校・園におかれましては、かつて経験のない対応に日々教職員が一丸となって取り組んできたことと思います。

しかしながらこのような状況下でも、教育改革の流れは留まることなく、今年度は小学校において新教育課程が全面実施され、中学校、高等学校もそれに続いていきます。

今の子供たちが社会を担う20年後では、AIに置き換えられない人間ならではの力、創造力や行動力、協調性を備え、さまざまな人々と協力し合って社会を支えていくことが求められています。そこで、今回の教育改革は、知識や技能を得るために学び続ける力、知識を活用するための思考力・判断力・表現力等の能力、自らのアイデアを他人と協力して実現できる力を子供たちに育成することを目的としています。

それに伴い授業も大きく変わります。どの学校におかれましても「主体的・対話的で深い学び」のある授業の実現に向け、研修を積み重ねていることと思います。大切なことは、教師自身がこの変化に対応できる柔軟性を持ち、日々指導力の向上に真摯に取り組むことだと思います。教師に求められるのは、まさにこの姿勢ではないでしょうか。

現在、学校教育には、目の前の休業措置をはじめ、いじめ・不登校など解決しなければならない課題が山積しています。市立校長会といたしまして、市内すべての学校・園が同じ方向を向き、その一つ一つに誠心誠意尽力しながら、その先につながる「一人ひとりが輝く、しなやかさとたくましさをそなえた人材を育てる 川口の教育」を実現させるべく、全力で教育活動にあたって参る所存です。

川口市教育委員会をはじめ関係の皆様には、今後ともご指導ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

英知を結集し難局を乗り越えましょう

川口市立中校長会長 瀬山 真一
(西中学校 校長)



令和2年度を迎え、川口市立学校(園)の教職員の皆様におかれましては、昨年度から続いております「新型コロナウイルス感染拡大防止」のため、様々な対応に追われ、通常の教育活動ができず、大変な

日々を送られていらっしゃるかと存じます。

私たち教職員は、日々、多くの教育指導上の諸課題を抱え、全力を尽くしております。一方で近年、「教職員の働き方改革」も大きな課題となってまいりました。更に夏季は35度以上の酷暑、秋季は大型台風通過に伴う避難所対応、冬季の感染症対策など自然との闘いが年々厳しさを増しております。

このような中、今回の「緊急事態宣言」に伴う「臨時休業」を余儀なく受け入れざるを得ない状況は、学校教育にとって極めて厳しいものであります。しかし、止まない雨はございません。今こそ、私たち教職員は英知を結集し、この困難な状況を乗り越え、子供たちの学習を保障し、健全育成を進めなければなりません。

私たちの大先輩は、戦後何もなかったところから教育を生み出したと伺っております。そのご労苦と比べればまだまだ恵まれております。今年度は、年間指導計画、学校行事など様々な面で例年通りが通用しない1年になりそうです。子供たちの健康・安全を最優先にしながらどうしたら最大限の教育効果を生み出すことができるかを教職員全員が一丸となって工夫することが強く求められております。

結びに各学校(園)におかれましてはこの難局を乗り越えるためにも保護者、地域の皆様と一層連携を深め、「一人ひとりが輝く、しなやかさとたくましさをそなえた人材を育てる 川口の教育」を共に推進してまいります。

川口市教育委員会をはじめ関係の皆様には今後ともご指導・ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

川口の教育が試される年

川口市立高等学校 校長 井上清之



令和2年度は、新型コロナウイルス感染症による休校の中でスタートしました。感染された方々にお見舞い申し上げるとともに、お亡くなりになられた方々に謹んでお悔やみ申し上げます。

さて、今、学校は「先行きが不透明な時代」という現実を突きつけられ、日々刻々状況が変化する中、出口の見えない対応に追われています。しかしながら、学校教育に限らず、いつの時代にあっても先行きが分かっていたことはありません。我が国の学校教育は、先人達が子供たちの未来の姿に夢を託し、たゆまぬ実践と評価・改善を重ねながら、今日の姿を脈々と築き上げてきました。この難局にあたり、私達は学校教育のPDCAサイクルの中で培われてきた、我が国の教育の不易と流行について、改めて確認する必要があると考えます。

教育の目的は人格の完成にあり、新しい学習指導要領では、知識・技能と思考力・判断力・表現力等に加え、学びに向かう力や人間性などを社会に開かれた教育課程のもとで培うことが求められています。川口市の教育大綱では「一人ひとりが輝く、しなやかとたくましさそなえた人材を育てる 川口の教育」を目指しています。この未曾有の危機に際しても、私達教師は、子供たちの学びを止めるわけにはいきません。学校教育の不易を見失うことなく、目の前の児童生徒に正対し、一人一人の未来を拓く教育をしなやかさとたくましさを持って推進する使命があります。

川口市は、81校(園)を有する大きな町です。このスケールメリットこそが、本市の最大のストロングポイントです。3月の臨時休校以来、教育委員会と代表校長の協議や地区の校長会での情報交換など、全ての校長が校種を越えて知恵を出し合ってきました。その後ろには答えのない問いに挑む2000名を超える教職員の姿があります。今は、川口市が長年にわたって培ってきた幼小中高の連携教育、家庭・地域との連携の成果が試される時です。令和2年度は、川口市の全ての学校、全ての教職員、そして家庭・地域が一丸となって新型コロナウイルスとの闘いに挑む年となります。川口市立高等学校も川口市のリーディング校として、全力で川口の教育に貢献する覚悟です。

◆校長会長のあいさつ◆

幼児期の終わりまでに育ってほしい姿

川口市立幼稚園長会長 小沼 和美
(南平幼稚園長)



令和2年度は臨時休園からのスタートとなりましたが、命が大事、命さえあれば何でも乗り越えられると信じ、元気に登園する子供たちの姿を思い浮かべながら幼稚園再開に向けて準備を進めています。

舟戸幼稚園、南平幼稚園の両園では、文部科学省の示す「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」及び、埼玉県教育委員会「子育ての目安『3つのめばえ』」を視pointsに、幼児の心身の発達に即した適切な指導に努めています。

2園が連携し、川口市立幼稚園教育研究協議会を組織し、令和元年度は「心豊かでいきいきと表現する幼児の育成」を研究主題に、幼児自らがかいたり、つくったりする楽しさを十分に味わうための教師の援助のあり方を求めて、実践的な研究に取り組みました。昨年度は、市内の小中学校にも夏季研修会及び事例研究会の開催案内をさせていただいたところ、校長先生、教頭先生を始め、多く小中学校の先生方にも参加していただき、異校種連携の観点からも大変充実した研究会となりました。

新幼稚園教育要領では、小学校以降の学習指導要領と総則の構成がおおむね同じになり、幼小の接続が見通しやすくなりました。新幼稚園教育要領が示す通り「幼稚園教育が、小学校以降の生活や学習の基盤の育成につながることに配慮し、幼児期にふさわしい生活を通して、創造的な思考や主体的な生活態度を培う」よう、両園では全教職員が一丸となって保育にあたっています。

また、令和3年度より新たに3歳児の受け入れを始めます。これは公立幼稚園を選んでいただき、卒園後も見守り、応援してくださっている多くの保護者の皆様の願いでもありました。期待に応えられるよう両園で3歳児保育の研究と準備を進めています。

本年度も教職員一同、地域に根ざした幼稚園づくりと次世代を担うたくましい川口の子供たちの育成のため、全力で取り組んでまいります。今後とも、川口市教育委員会をはじめとする関係の皆様のご指導・ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

(参考)

令和2年度 川口市立学校(園) 研究テーマ一覧

小学校

本 町	幅広い教科における、「見通し」と「振り返り」を活かした思考力の向上
幸 町	これからの社会を生き抜く児童の育成 ～効果的なICTの活用を通して～
仲 町	認め合い、学び合える仲小っ子の育成 ～伝えたい、聞きたい、知りたいたいを実現できる力の育成～
上青木	「主体的に学び、互いに高め合う児童の育成」 ～書くことと対話を通して、互いの考えを広げ深め合える国語科指導の工夫～
元 郷	主体的・対話的で深い学びの実現と創造 ～学級活動を核とした授業実践をとおして～
飯 塚	主体的に考え、豊かに伝え合う児童の育成
芝	一自分の思いや考えを表現し、伝え合える児童の育成 ～自ら学ぶSHIKAKEを活かした授業づくり～
新 郷	「確かな学力」を身に付け、主体的に学ぶ児童の育成 ～対話的な学び合いを取り入れた「わかる・できる」「楽しい」授業づくり～
神 根	自分や相手のよさを大切に、進んで行動できる児童の育成 ～リーダー・イン・ミーの手法を取り入れた学級活動の実践～
青木北	一人一人の個性の伸長を目指した教育 ～分かる・できる・楽しい授業作り～
領 家	確かな学力を身に付け、生き生きと学ぶ子の育成 ～思考力・判断力・表現力を高める、国語の授業づくり～
舟 戸	学びをつなげ、夢をはぐくみ、未来をひらく連携教育の推進
十二月田	数学的な思考力・表現力を育てる指導の工夫 ～言語活動の充実を重視した算数科の授業づくり～
飯 仲	よさを認め合い、夢中になって取り組む授業の創造
並 木	知・徳・体の調和のとれた児童の育成 ～教科横断的な主体的・対話的で深い学びの実現～
安 行	考え、話し合い、学び合うことにより、主体的に学ぶ児童の育成 ～ユニバーサルデザインの視点を生かした算数科の授業実践を通して～
原 町	自ら学び、共に学ぶ児童の育成
前 川	「できる喜びを味わい、生き生きと学ぶ児童の育成」 ～思考力・判断力・表現力を高める算数授業の改善を通して～
戸 塚	主体的に学び、共に高め合う児童の育成 ～児童の見方・考え方を働かせ、熱中する授業づくり～
青木中央	自ら考え、進んでかかわろうとする児童の育成 ～自己の成長を実感できる「特別の教科 道徳」の授業づくり～
元 郷南	主体的に粘り強く取り組み、気持ちよく他者と協働できる児童の育成 ～主体的・対話的で深い学びに向けた授業改善～
芝 西	主体的・対話的で深い学びを通して、協働できる児童の育成 ～新学習指導要領の実施を踏まえた、学力向上を目指して～
芝 南	課題を解決するために、自ら楽しんで運動する児童の育成
神 根東	一人一人が自ら考え、意欲的・主体的に学ぶ児童の育成 ～言語活動を通して豊かな表現力を育む国語科指導法の工夫・改善～
朝 日東	居場所をつくり、自らを表現しようとする児童の育成 ～魅力ある学級経営・授業展開から迫る学力の向上～
芝 富士	プログラミング的思考を育てる授業の創造
前 川東	「楽しい授業の創造」 ～深い学びを実現するための基礎基本の充実～
柳 崎	いきいきと学びあう子の育成 ～ユニバーサルデザインの視点を通して～
芝 樋ノ爪	豊かな読みの力を身に付けた児童の育成
新 郷南	自分の考えや思いをもち、豊かに表現できる児童の育成 ～創造的、意欲的に書く学びを進める指導の工夫～
上青木南	運動好きで、心も体もたくましい児童の育成
根 岸	思いや考えを伝え合い、学び合う児童の育成 ～書くことが好きになる授業づくり～
芝 中央	豊かな語彙を身に付け、粘り強く学び、伝え合う児童の育成 ～言語活動の適切な設定と充実を通して～
新 郷東	読書活動をおして読書を深め活かす児童の育成 ～読みたい 学びたい 活かしたい～
朝 日西	共に学び合い、生き生きと主体的に学習する児童の育成 ～思考力・判断力・表現力を高める言語活動の充実を目指して～
慈 林	「学び合い」のある授業を充実させ、学力(算数)の向上を目指す ～みんなで「できた!」を味わえる算数 広がる つながる 学びの輪～
差 間	GUだヨ!全員集合 さいて!おしえて!!DOLたい!!!
東 本郷	粘り強く課題に取り組み、主体的に学び、表現できる子の育成
東 領家	自分の思いや考えをもち、豊かに表現できる児童の育成 ～国語科における学習指導の工夫・改善を通して～
安 行東	主体的に学習に取り組む安行東っ子の育成
在 家	「進んで自分の思いや考えを伝え合う児童の育成」 ～言語を大切に「話すこと、聴くこと」の学習を通して
戸 塚東	これからの時代を生き抜く児童の育成 ～主体的・対話的で深い学びの実現～
戸 塚北	「自ら問いをもち学び合う子供の育成」 ～学力を基盤とした生活科・社会科の授業を軸として～
木 曾 呂	主体的に学習し、共に学び、高め合う児童の育成 ～日常生活に生きて働く知識及び技能の確実な習得と思考力を高める授業を目指して～

戸塚綾瀬	主体的・対話的・感動的な授業の実践 ～学び合いの中で説明する力が身につく、理解を深められる児童の育成～
戸 塚 南	①豊かな心と実践力を育み、未来を拓く家庭教育 ②人と関わりながら、よりよく生きる力を身につけた児童の育成
鳩ヶ谷	問題解決的な学習の充実 ～各教科等の見方・考え方を働かせて～
中 居	児童一人ひとりが生き生きと学びに向かう力の育成
辻	豊かな心と健やかな体をもつ児童の育成 ～主体的・対話的で深い学びを通して～
里	自分で考え、自分の言葉で伝えられる児童の育成 ～思考力・判断力・表現力等の育成～
桜 町	心・身体・人とのつながりを育む健康教育 ～主体的に運動に関わり、自己肯定感を高める実践を通して～
南鳩ヶ谷	自主的・実践的な態度の育成 ～言葉がもつよさを生かして～

中学校

東	確かな学力を育む、基礎基本の徹底 ～生徒の主体性を伸ばす～
西	主体的に学ぶ生徒の育成 ～学ぶ喜びを実感させる学習指導～
南	学びをつなげ 夢をはぐくみ 未来を拓く連携教育の推進 ～他者とよりよく生きる国際理解教育の充実～
北	自ら学びに向かう生徒の育成 ～学力の向上を目指した指導法の工夫・改善～
青 木	道徳の教科化にもともなう評価システムの構築 ～よりよい道徳実践意欲と態度の育成～
芝	学ぶ意欲をもち、主体的に活動できる生徒の育成 ～言語活動の充実を柱とした授業の創造～
元 郷	意欲的に学び、確かな学力を育む指導の工夫 ～基礎基本の徹底・小中連携教育を通して～
上青木	学びの質を高め、確かな学力を育成する指導の工夫・改善 ～協働的な学習活動の展開を通して～
幸 並	主体的に学習に取り組む生徒の育成 ～新学習指導要領の実施に向けた指導と評価の工夫・改善～
十二月田	学力向上を図る指導の工夫・改善 ～誰もがわかる授業・できる授業、生徒の目標(ユニバーサルデザイン)で考える授業実践～
仲 町	主体的・対話的で深い学びの視点による授業改善・工夫 ～「深い学び」から生徒の主体性を高める～
安 行	主体的に学ぶ生徒の育成 ～学ぶ意識を引き出す学習指導の工夫～
芝 東	生徒の夢を叶える学力向上 ～「学ぶ力」を育む学習指導法の研究～
芝 西	①主体的・対話的で深い学びの視点による授業改善～楽しくわかる授業・学びの広がる授業 ②生徒理解を深め、傾聴姿勢を示す生徒指導と教育相談の連携
芝 西陽春分校	ユニバーサルデザインの視点を生かした授業の工夫
岸 川	新学習指導要領改訂に向けた指導・評価の工夫
榛 松	主体的・対話的に学ぶ生徒の育成 ～「気づく」「考える」「深める」学習活動の展開を通して～
小 谷 場	生徒一人一人の生きる力を伸ばす教育の実践
神 根	心豊かで、何事にも意欲的に取り組み自ら考え行動できる生徒の育成 ～神根中の道徳の授業スタイルの確立を目指して～
領 家	意欲的に自己を表現する生徒の育成 ～認め合い、高め合い、伝え合う生徒を目指して～
戸 塚	不登校生徒の削減と予防 ～新しい学力の向上を目指して～
在 家	生徒自ら進んで授業に取り組む、学力向上を図る生徒の育成 ～基礎基本の定着を図る生徒の育成～
安 行 東	自ら課題を発見し、主体的・対話的に学ぶことができる授業改善
戸 塚 西	気づき、考え、実践する生徒の育成 ～お互いを高めあう活動を通して～
鳩ヶ谷	「防災教育」に関する研究 ～自助・共助のできる生徒の育成を目指して～
八 幡 木	主体的・意欲的に学び、自己共に認め合う生徒の育成 ～学び合い、高め合う活動を通じた学力・徳力の向上～
里	主体的・対話的で深い学びの視点から「主体的な学びを促す指導・評価の工夫」 ～自分で行動できる生徒の育成～

高等学校

川口市立高 校	「主体的・対話的で深い学びを実現する授業実践」の研究 ～ICT・ALを活用した授業の開発～
---------	--

幼稚園

舟 戸	学びをつなげ 夢をはぐくみ 未来を拓く連携教育の推進 ～他者とよりよく生きる国際理解教育の充実～
南 平	言葉による伝え合いを楽しむ幼児の育成

プログラミング教育について

川口市教育局指導課指導主事 村越 崇

はじめに

「society5.0」といわれる人工知能(AI)やIoT、ビッグデータなどを活用した社会の到来が予測されている。その変化が激しい社会の中で生き抜いていくために、子供たちがコンピュータを活用し、情報活用能力を身に付けることが必要である。

1 なぜプログラミング教育が必要なのか

コンピュータをより適切かつ効果的に活用していくためには、コンピュータの仕組みを知ることが必要である。コンピュータは入力された命令で動く。これを「プログラム」と言い、命令を与えることを「プログラミング」という。このプログラミングを知り、コンピュータを理解し活用していく力を身に付けることは、将来どのような職業に就くとしても極めて重要との認識から、新学習指導要領が改訂された。

2 小中高の段階を通じたプログラミング教育の充実

「幼稚園・小学校・中学校・高校及び特別支援学校の学習指導要領等の改善及び必要な方策について（H28 中央審議会答申）」でプログラミング教育の充実が求められている。各校種の指導ポイントは下記に示す通りである。

(1) 小学校のプログラミング教育

○各教科等の特質に応じて「プログラミングを体験しながら、コンピュータに意図した処理を行わせるために必要な論理的思考力（プログラミング的思考）を身に付けるための学習活動」を計画的に実施する。

プログラミング的思考

自分が意図する一連の活動を実現するために、どのような動きの組合わせが必要であり、一つ一つの動きに対応した記号を、どう組合わせたらいいのかわかるか、記号の組合わせをどう改善していけばより意図した活動に近づくのかわかるかを論理的に考えていく力。

○算数、理科、総合的な学習の時間において、プログラミングを行う。（小学校プログラミング教育の手引きに例示あり）

(2) 中学校のプログラミング教育

○技術・家庭科（技術分野）において、プログラミングに関する指導内容の充実を図る。

- ・コンピュータ間で相互に通信をする双方向的なコンテンツの設計を学ぶ。
- ・発見した問題の課題解決に視点をおいたプログラミングについて学ぶ。

(3) 高等学校のプログラミング教育

○新設された科目「情報Ⅰ」を全ての生徒が必ず履修。

- ・プログラミングの他、ネットワーク（情報セキュリティを含む）やデータベースの基礎等について学ぶ。
- ・「情報Ⅱ」（選択科目）では、プログラミングについて更に発展的に学ぶ。

中・高等学校においては、小学校や中学校で培った児童生徒の力を把握し（いわゆる情報モラルに関することも含める）継続的な指導を図っていただきたい。

3 川口のプログラミング教育の実践例と今後の充実

現在、小・中学校全校にプログラミング教材として「Scratch（スクラッチ）」が導入されている。今後、小学校の全校に「ピタッとプログラミング」というソフトの導入も予定されていることから、小学校低・中学年を「ピタッとプログラミング」高学年を「スクラッチ」にするなど、系統的なプログラミング教育の充実につなげていきたい。市内の事例として、芝富士小学校の取組を紹介する。

——市内の実践例（芝富士小 中間発表より）——

(1) 国語科でのプログラミング：「修飾語」（小学3年生）

本時の学習は、自分が作りたい「修飾語」を実現するためにスクラッチを活用して、順次・分岐・反復処理を利用することで、「修飾語」の組合わせを学ぶ。本活動を通して、児童にはプログラミング的思考と併せて「修飾語」について理解を深めさせることをねらいとしている。



(2) 「Scratch（スクラッチ）月間」の実施

- 内容：PCの使い方、マウスレッスンなどの指導（低学年）
- 「はじめてのScratchプログラミング」教材を活用したプログラミングの授業実践
- （中・高学年）

スクラッチ月間(12月)



(3) 各教室のフロアに「プログラミングボード」と「フローチャート」の設置



おわりに

新型コロナウイルス感染症の影響で、学校のICT化が急速に進められている。令和2年5月には文部科学省から『①使えるものは何でも使って②できることから、できる人から③既存のルールにとらわれず④なんでも取り組んでみる。』という提案がなされた。

ぜひ、子供たちが楽しみながらプログラミング的思考を育めるよう取り組んでいただくとともに、各教科の学びをより確実なものにできるよう「まずはできることから」はじめていただきたい。

- ・「小学校プログラミング教育スタートアップガイド」（平成31年 川口市教育委員会）
- ・「小学校プログラミング教育の手引（第2、3版）」（平成30年、令和2年文科省）
- ・「教育の情報化に関する手引き」（令和元年 文部科学省）



学校再開に向けた『学校の新しい生活様式』 ～各学校の実践～

川口市教育局学校保健課指導主事 阿部 雄太
同 長濱美智子

各学校（園）において教育活動を再開していくにあたっては、児童生徒等及び教職員の新型コロナウイルス感染症における感染リスクを可能な限り低減することが必要になってくる。このため、川口市教育局学校保健課において、学校の衛生管理の観点から、「川口市立学校（園）の再開に向けた留意事項について（通知）」を発出した。

そこで、今回は各学校における実態に即した「学校の新しい生活様式」に臨むための取組を学校保健・学校給食に分けていくつか紹介する。

1 学校保健の取組

①新郷東小学校の『新しい生活様式』

新郷東小学校では、「新郷東小学校の新しい生活様式」を図を用いて作成した。一日の学校生活が1枚の用紙でわかるように工夫されている。

これを教室に掲示するとともに、各家庭にも配布し、家庭でも新しい生活様式を確認できるようにしている。このことにより、学校の新しい生活様式を自然と身に付けさせ、自身の生活に取り込んでいく意識へとつなげている。

②岸川中学校の教職員向け『新型コロナウイルス感染症対応』

実施時期	実施内容	担当者
授業終了後	<p>多くの人が手を触れる場所（ドアノブ、手すり、スイッチなど）は、消毒（0.05%次亜塩素酸ナトリウム水増液等）を巻んだ布でふき取る。金属部分は錆びたり変色するので、乾いた布でふき取る。 （スプレーボトルでの噴霧は、ウイルスが飛散するので行わない）</p> <p>●教室：机・椅子の背もたれ、ペランダの扉、教卓、水筒の蛇口、扉・スイッチ、石けん容器、アルコール容器など</p> <p>●トイレ：便座のカギ、扉、レバー、洗面台、スイッチなど（濡れている場合は水分を十分に拭き取った後に消毒する）</p> <p>●教室：扉・スイッチなど</p>	学務職員全員

【別記】保健室の利用について

- ①保健室入室時は『保健室入室カード』を持参させる。
- ②保健室前の廊下で、養護教諭が問診・検温を行う。
- ③発熱・咳・風邪症状・倦怠感など、新型コロナウイルス感染症が疑われる症状がある場合は、『発熱している人はこちら』と書かれたドアから入り（中もつい立て隔てられている）、保健室が迎えに来るまで待機する。
- ④上記の症状がない生徒は、通常どおり、休養（1時間以内）・手当てを行う。



★新型コロナウイルス感染症に似た症状はドア側（引き戸ではない入口）から入る。



岸川中学校では、養護教諭を中心に『新型コロナウイルス感染症対応』について、保健管理、保健教育の視点で作成されている。

今回は、「保健室利用」について取り上げる。新しい生活様式での「保健室利用」では、生徒が保健室に来室する際に、①保健室入室時は『保健室入室カード』の持参。②保健室前の廊下で養護教諭が問診・検温の実施。③発熱生徒とそうでない生徒の出入口の違い等が決められている。分散登校を経て、更によりよいものへと更新していくということである。

2 学校給食の取組

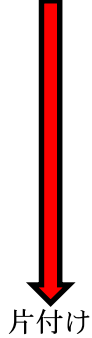
①並木小学校教職員向け『新型コロナウイルス感染症対策マニュアル』

並木小学校では、川口市教育局発出文書「川口市立学校（園）の再開に向けた留意事項」（学校給食編）をもとに、より学校の現状・実態に応じた学校独自の学校給食基本方針（マニュアル）を作成した。

『新しい給食時間の過ごし方』に対応した給食の共通事項をまとめた対策マニュアルを作成することにより、教職員全体が共通理解・共通行動をとることができ、有効である。

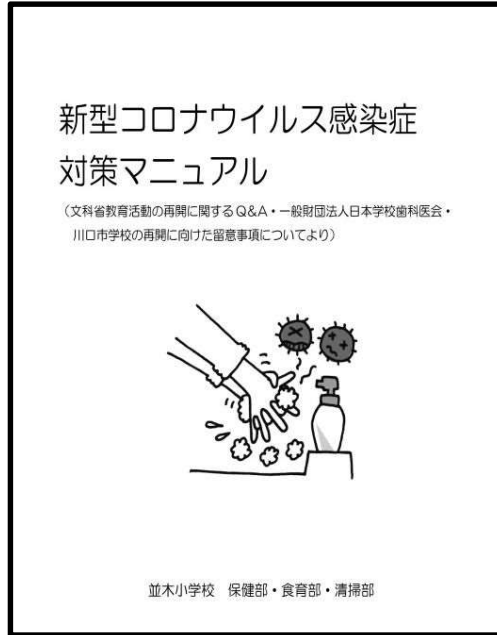
（給食編一部抜粋）

準備



片付け

- ①担任と給食当番は給食当番健康記録表に記録する。
（下膳するときに保健室に提出する。）
- ②手洗い・うがい・アルコールで手指消毒をさせる。
（混まないよう工夫する。班ごと・号車ごと等）
- ③給食室に取りに行くときや返すときは、配膳室に1クラスずつ入る。
待機するときはラインに沿って待つ。
- ④前向きで静かに食べる。
- ⑤牛乳パックは、給食室のゴミ袋に捨てる。



②飯塚小学校校内掲示板（食育）の活用

飯塚小学校では、『新しい給食時間の過ごし方』について、校内（教室等）の食育掲示板を活用して紹介している。

給食の身支度に加え、新型コロナウイルス感染症拡大防止に向けた『新しい給食時間の過ごし方』について、詳しい内容が掲載されている。『手洗い・マスク着用の徹底』、『前を向いて、口を閉じて食べる』などと違った『新しい給食時間の過ごし方』の留意点について、児童がいつでも確認できるようになっている。

【飯塚小学校 食育掲示資料】

上：校内掲示用 下：教室掲示用



教育ルポ



川口市マスコット「きゅぼらん」

新型コロナウイルス感染症による長期間の休業期間中にも、各学校が様々な工夫した取組を行いました。

5月 休業期間中の各学校の様子



ソーシャルディスタンスへの配慮【幸町小】



課題の受渡しの際の入念な消毒【芝東中】



教職員による学校施設の消毒【里小】



職員室内の感染症対策【上青木南小】



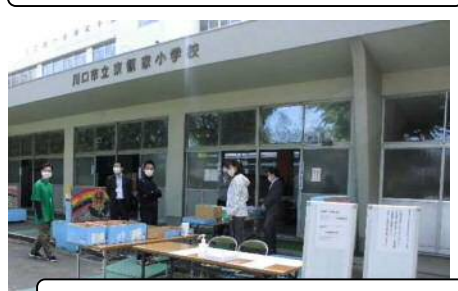
学校でのお預かり【神根東小】



「ハートフルウィーク」期間に児童への電話連絡【鳩ヶ谷小】



テレビ会議システムを活用したホームルーム【安行小】



課題受渡しをスムーズに進行するための準備【東領家小】



学校再開後に向けた授業の準備【里小】



手洗いの仕方のオリジナル掲示【新郷小】



ソーシャルディスタンスを示した掲示物の作成【岸川中】

緊急事態宣言が解除され、6月から学校が再開しました。学校では、分散登校や3密を避けるなど対策をとりつつ慎重なスタートとなりました。



川口市マスコット「きゅぼらん」

6月 学校再開後の各学校の様子



テレビ放送による始業式【鳩ヶ谷小】



分散登校時の教室の様子【戸塚南小】



分散登校時の教室の様子【小谷場中】